

NO.	※コース	講演タイトル	講師	単位	受講料
	全	下記NO.1～47 見放題	下記参照	自由	5,000円
1	A	●がん免疫療法の最前線	国立がん研究センター研究所 青木 一教	1	1,000円
2	A	●保険診療で行われる遺伝子パネル検査とデータの利活用	国立がん研究センター研究所 河野 隆志	1	1,000円
3	A	●がん患者の痛みとことろ ●サイコオンコロジー（精神腫瘍学）における診断と治療のプロセス	国立がん研究センター 中央病院 松岡 弘道	2	2,000円
4	A	●環境要因とがん	国立がん研究センター研究所 戸塚 ゆ加里	1	1,000円
5	A	●がん患者の生活の質（QOL）に役立つ漢方薬	東京慈恵会医科大学 上園 保仁	2	2,000円
6	A	●乳がんの診断と治療 2021	昭和大学 乳腺外科 中村 清香	2	2,000円
7	C	●疼痛の評価と治療法の考えかた ●オピオイド鎮痛薬の有効性と限界 -非がん慢性疼痛に対する オピオイド鎮痛薬の位置づけ-	順天堂大学医学部 井関 雅子	2	2,000円
8	C	高齢者の薬学的管理 ●フレイル・要介護高齢者の治療方針の決定 ●高齢患者の医薬品適正使用とは？	東京大学大学院医学系研究科 小島 太郎	2	2,000円
9	C	●行動薬理学からみた薬物依存 ●最近の薬物問題を考える：ポスト危険ドラッグとして的大麻	国立精神・神経医療研究センター 松田 正彦	2	2,000円
10	C	●多用される胃酸分泌抑制薬の功罪 ●消化器のアレルギー疾患 好酸球性食道炎の診療の現状	兵庫県立姫路循環器病センター 木下 芳一	2	2,000円
11	C	●産科における基礎知識 ～妊娠から産褥まで～	国立成育医療研究センター 鈴木 朋	1	1,000円
12	C	●妊婦・授乳婦と糖尿病	国立成育医療研究センター 荒田 尚子	1	1,000円
13	C	●高血圧合併妊娠と薬剤	国立成育医療研究センター 三戸 麻子	1	1,000円
14	C	●周産期メンタルヘルス	筑波大学医学医療系 根本 清貴	1	1,000円
15	D	●コラーゲンペプチドの製品 ～エビデンスと作用メカニズム～	株式会社ニッバイオマトリックス研究所 小山 洋一	1	1,000円
16	D	●機能性素材：水溶性食物繊維「難消化性デキストリン」	松谷化学工業株式会社 北川 真知子	1	1,000円
17	D	●内臓脂肪を低減するガセリ菌SP株 ～機能性表示食品としての事例～	雪印メグミルク株式会社 冠本 敏秀	1	1,000円
18	D	●アミノ酸の機能性について ～睡眠の質を改善するサプリメントを中心に～	味の素株式会社 佐藤 齊	1	1,000円
19	D	●特定保健用食品『黒烏龍茶』の開発	サントリー食品インターナショナル株式会社 寺本 貴則	1	1,000円
20	D	●水溶性食物繊維の機能性と医療分野での実施例	太陽化学株式会社 安川 然太	1	1,000円
21	D	●アミノ酸の機能性 ～ロイシン高配合必須アミノ酸と機能性表示食品～	味の素株式会社 梶原 賢太	1	1,000円
22	D	●緑茶成分と機能性 ～テアニンと茶カテキンを中心として～	太陽化学株式会社 小関 誠	1	1,000円
23	D	●骨密度を高める働きのあるMBP [®] ～特定保健用食品としての事例～	雪印メグミルク株式会社 瀬戸 泰幸	1	1,000円
24	D	●大豆タンパク質のさらなる可能性	不二製油株式会社 河野 光登	1	1,000円
25	D	●EPAの機能性 ～知っておきたい「抗炎症機能」も含めて～	日本水産株式会社 中島 秀司	1	1,000円
26	D	●希少糖の特性と機能	松谷化学工業株式会社 山田 貴子	1	1,000円
27	D	●水溶性食物繊維グアーガム酵素分解物の機能性	太陽化学株式会社 安部 綾	1	1,000円
28	D	●疲労感軽減アミノ酸を利用した機能性表示食品について	味の素株式会社 梶原 賢太	1	1,000円
29	D	●ヒトにすんでいるビフィズス菌種の可能性	森永乳業株式会社 小田巻 俊孝	1	1,000円
30	D	●食品の機能性 いわゆる健康食品の機能性研究 ～たんばく質の重要性と、スケソウダラの速筋タンパク質の筋肉増強効果～	日本水産株式会社 内田 健志	1	1,000円
31	D	●還元型コエンザイムQ10の生理作用	株式会社 カネカ 藤井 健志	1	1,000円
32	D	●機能性食品の開発と製品化 ～コーヒー由来マンノオリゴ糖～	味の素AGF株式会社 熊王 俊男	1	1,000円
33	F	メタボリックシンドロームの治療戦略 ●内臓脂肪蓄積の病態と予防 ●高尿酸血症・脂質異常症・2型糖尿病治療薬の使い方	大阪大学大学院医学系研究科 西澤 均	2	2,000円
34	F	●生活習慣病に伴う慢性腎臓病 ～その薬物療法のすべて～	慶應義塾大学医学部 臨野 修	1	1,000円
35	F	●睡眠時無呼吸症候群と肥満	日本医科大学呼吸ケアクリニック 日野 光紀	1	1,000円
36	G	●漢方治療総論	慶應義塾大学医学部 漢方医学センター 修琴堂大塚医院 渡辺 賢治	1	1,000円
37	G	漢方服薬指導 1 ●医師の処方意図を探る		1	1,000円
38	G	漢方服薬指導 2 ●服用法と副作用		1	1,000円
39	G	●加齢に対する漢方治療		1	1,000円
40	G	●未病の漢方治療		1	1,000円
41	G	●プレコンセプションケアから子育て支援の漢方		1	1,000円
42	H	●高齢者生活習慣病の包括的管理と薬物療法のポイント ～ガイドラインと最新の研究を踏まえて～	国立長寿医療研究センター 荒井 秀典	2	2,000円
43	H	●慢性肝炎の診断と治療 ●C型肝炎の治療薬と薬剤師の役割	武蔵野赤十字病院 泉 並木	2	2,000円
44	H	●国際化と感染症	国立国際医療研究センター 国際感染症センター 大曲 貴夫	1	1,000円
46	D	●大豆食品の健康機能とPBF市場での新たな可能性について	不二製油株式会社 米元 博子	1	1,000円
47	D	●大人のための粉ミルク	森永乳業株式会社 瀬戸 菜実子	1	1,000円

A：がん治療・緩和医療専門薬剤師養成コース（がん治療・緩和医療特別講義Ⅰ） / E：セルフメディケーションコース 健康食品・サプリメント安全管理講座

B：がん治療・緩和医療専門薬剤師養成コース（がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ） / F：セルフメディケーションコース 肥満学会連携講座

C：薬剤師生涯学習 講演会シリーズ / G：セルフメディケーションコース 臨床栄養・漢方講座

D：セルフメディケーションコース 日本くすりと食品機能フォーラム / H：生涯教育講座 / I：その他

※ コンテンツNo.45は、視聴期間終了いたしましたため、欠番となっています。

※ 過去に本学の集合研修会、あるいはDVD研修として開講された講座も含まれますが、同じ内容の講座を重複して単位を取得することはできません。

お問合せ 星薬科大学 薬剤師生涯学習支援室

E-mail：shougaiyouiku@hoshi.ac.jp

TEL：03-5498-5863